

【活況な不動産市況の背景】

コロナウイルスが猛威を振るう中、全国的に不動産価格は値上がり続けています。昨年6月から現在までの不動産取引が活発に行われており、コロナ特需と言われるほど活況のある不動産市場になっています。

○コロナウイルスの影響によるライフスタイルの変化

コロナウイルスが蔓延する前の日常と蔓延後の日常には大きな変化がありました。一番の大きな変化は、在宅ワークです。今まで会社まで通勤し仕事をしていた人が自宅で仕事ができるようになり、住まいに求める価値観が大きく変わりました。賃貸だと手狭、庭付きの家が欲しいなど、住宅需要が高まるきっかけになりました。

○コロナ疎開実際は？

コロナウイルスが蔓延した当初、都心での感染拡大により、地方への移住者が増えると言われていました。実際には、県外へ移住するケースは、少なかったようで、再開発された町や大規模な商業施設周辺など、より利便性の高い場所の住替え需要が高まり、マンションの値段が高騰し続ける原因になっています。

○活況な不動産市況 実際は？

全国的に不動産取引件数は増えており、福山市も住宅需要は高いと言えます。特に中古マンションの需要は高く、購入した時よりも高く売却できるケースも多くございます。是非、このタイミングで住み替えや資産処分をご検討してみてはいかがでしょうか。